

いのち
生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

2018年
第64回

日本母親大会

in高知

世界に「核戦争から子どもを守ろう」とよびかけ、草の根の母親・女性の願いや要求を語り、歩みつづけて63年
64回目の日本母親大会が南国土佐・高知県で初めて開催されます。北から南から、職場から地域からみんなで誘いあってあつまりましょう。

第1日目

全体会 8月25日(土)

●12時30分～17時 ●会場：高知県立県民体育館

記念講演

渡辺 治さん (一橋大学名誉教授)

【プロフィール】

1947年東京生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学社会科学研究所助手、助教授を経て、1990年より2010年まで一橋大学教授。専門は、政治学、憲法学。2004年「九条の会」発足時から事務局を務める。著書・論文には共編著『日米安保と戦争法に代わる選択肢』、『現代史の中の安倍政権—憲法・戦争法をめぐる攻防』ほか多数。



第2日目

分科会 8月26日(日)

●9時30分～14時20分

●会場：高知県立大学(永国寺キャンパス) / 高知城ホール / 共済会館 / 高新文化ホール / ソーレ / 木村会館 / 人権啓発センター / 高知会館

「子どもと教育」、「くらし、権利、労働」、
「平和と民主主義」、「女性の地位向上めざして」など、
さまざまな問題をテーマ別に話し合います。

主催●第64回日本母親大会実行委員会 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館内 TEL 03-3230-1836 FAX 03-3230-1837

開催●高知県母親大会実行委員会 高知県高知市丸ノ内2-1-10 高知城ホール内 TEL・FAX 088-873-9066

協力●四国・中国ブロック各県実行委員会(香川・徳島・愛媛・鳥取・岡山・島根・広島・山口)

後援●〈自治体・教育委員会〉

〔高知県〕＝高知市・同教育委員会／室戸市・同教育委員会／安芸市・同教育委員会／香南市・同教育委員会／香美市・同教育委員会／南州市・同教育委員会／土佐市・同教育委員会／須崎市・同教育委員会／四万十市・同教育委員会／谷毛市・同教育委員会／土佐清水市・同教育委員会／東洋町・同教育委員会／奈半利町・同教育委員会／田野町・同教育委員会／安田町・同教育委員会／大豊町・同教育委員会／本山町・同教育委員会／土佐町・同教育委員会／いの町・同教育委員会／佐川町・同教育委員会／越知町・同教育委員会／仁淀川町・同教育委員会／津野町・同教育委員会／持原町・同教育委員会／中土佐町・同教育委員会／西万十町・同教育委員会／黒潮町・同教育委員会／大月町・同教育委員会／北川村・同教育委員会／馬路村・同教育委員会／芸西村・同教育委員会／大川村・同教育委員会／日高村・同教育委員会／三原村・同教育委員会

〔香川県〕＝観音寺市・同教育委員会／丸亀市・坂出市／東かがみ市／善通寺市教育委員会／土庄町・同教育委員会／小豆島町・同教育委員会／直島町・同教育委員会／観音町・同教育委員会／まんのう町・同教育委員会／琴平町教育委員会

〔徳島県〕＝徳島市／鳴門市・同教育委員会／小松島市・同教育委員会／阿南市・同教育委員会／阿波市・同教育委員会／美馬市・同教育委員会／勝浦町／上勝町・同教育委員会／石井町・同教育委員会／神山町・同教育委員会／那賀町・同教育委員会／牟岐町・同教育委員会／美波町・同教育委員会／海陽町・同教育委員会／松茂町・同教育委員会／北島町・同教育委員会／藍住町／坂野町・同教育委員会／上板町／東みよし町・同教育委員会／つるぎ町教育委員会／佐那河内村・同教育委員会

〔愛媛県〕＝松山市・同教育委員会／今治市・同教育委員会／宇和島市教育委員会／八幡浜市・同教育委員会／新居浜市・同教育委員会／伊予市・同教育委員会／四国中央市・同教育委員会／久万高原町・同教育委員会／砥部町・同教育委員会／内子町・同教育委員会／伊方町・同教育委員会／松野町・同教育委員会／鬼北町

〔団体〕〔高知県〕＝A高知女性組織協議会／高知県健康づくり婦人会連合会／高知県連合婦人会／こうち生活協同組合／障害者問題研究会高知支部／高知市立自由民権記念館友の会／戦争遺跡保存ネットワーク高知／安芸市日赤奉仕団／劇団the・劇

母親が変われば社会が変わる!

母親運動のあゆみは日本の女性運動のあゆみです

母親大会のはじまり

—「日本婦人の訴え」から 「世界母親大会開催へ」

1954年、ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験によってマグロ漁船員の久保山愛吉さんが亡くなりました。広島、長崎につぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうさんら6人は全世界にむけ「水爆禁止のための訴え」を送り、1955年スイスのローザンヌで世界母親大会の開催が決まりました。

それに先立ち6月、第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭鉱や農村からも、1円募金などで送り出された2000人の母親が集まりました。世界大会には河崎なつさんを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が参加しました。はばひろい母親運動の出発点です。

母親大会のあゆみ

—くらし・平和を守ってたくさんの 母親・女性たちが行動

帰国後の報告会は、全国各地で数千回開かれ、各地に母親運動が広がりました。そして母親・女性たちの願いをかかげ、子どもたちを小児マヒから守るための生ワクチンの緊急輸入、学校給食の脱脂粉乳を生乳に、ポストの数ほど保育所を、高校全入や私学助成など教育問題、物価値上げ反対、地球環境・公害問題など母と子を取りまくさまざまな問題にとりくみ、貴重な成果をあげながら、60年余をあゆみつづけてきました。

世界母親大会によせられたギリシャの詩人ペリディス夫人の詩の一節「生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」は、今日まですべての母親・女性の心をとらえ、連帯のスローガンになっています。

初めて開催される、 南国土佐・高知に あつまりましょう

第64回日本母親大会は、高知県高知市で開催されます。1日目は47都道府県からの参加者が一堂に集まる全体会で、記念講演の講師は渡辺治さんです。2日目は「子どもと教育」、「くらし、権利、労働」、「平和と民主主義」、「女性の地位向上めざして」など、さまざまな問題をテーマに分かれて話し合う分科会です。

「核戦争から子どもを守ろう」との母親たちの熱い願いから始まった母親大会はだれでも参加できる大会です。格差と貧困のひろがる厳しい情勢のときだからこそ、母親大会に集い、明るい未来をきりひらく力にしていきましょう。高知県で初めて開催される第64回日本母親大会に、切実な要求・願いをかかげて行動し、ひとりで悩んでいる人にも声をかけ、北から南から、世代をこえてさそいあい、よびかけあってあつまりましょう。